

LEQ 集団活動プログラム《コテサキサーキット》

タイトル	コテサキサーキット
大ジャンル：	ゲーム
中ジャンル：	レクリエーション
小ジャンル：	手先トレーニング
使う道具：	ダボ・サイコロ・積み木・ファスナー・アイリング・洗濯バサミ・ひも・ボタン・50音カード・トランプ・おはじき・お箸・箱作り・
場所	室内
人数	2-
内容	4個の手を使ったトレーニングをコースとして並べて行う器用さと集中力の向上を図るトレーニング

5領域

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
○	○	○		

【流れ（20分）】

時間	内容	児童の予想される行動	支援員の動き
00:00	<p>活動の始まりの挨拶 挨拶時は正座 「今から活動を始めます。礼。」</p> <p>活動内容の説明 4つの手を使ったトレーニングをクリアする。 2レーン用意して二人ずつ行う ※速さではなく正確にできているかを重視</p> <p>トレーニング内容 ・おはじきorダボ移し （お皿の上のおはじきをおはしを使って反対側のお皿に移す）</p> <p>・ボタン付け</p>	<p>始まりの挨拶時には正座ができていますか</p> <p>説明時に説明を聞いているか</p>	<p>正座ができていますか</p> <p>聞くときに壁に寄りかかったり寝転んだりしていませんか</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の組み立て ・ファスナー開け閉め ・積み木立て（5個） ・アイリングつなぎ・バラし （バラバラの色を交互もしくは同じ色を10個つなげてばらす） ・洗濯バサミつけ・外し ・トランプ並べ（1～13） （裏返しにしたトランプを表にして1～13まで並べる） ・ダボ立て（10個） ・50音カードで言葉作り （例えばお題「果物」で50音カードを使って言葉を作る。一度使ったカードは使えない） ・結び （蝶々結びなどで紐を結ぶ） ・サイコロゾロ目揃え （サイコロを2個転がしてゾロ目が出るまで振る） <p>この中から4つをコース上に配置してクリアしてゴールを目指す 赤は少し難易度高めなのでコース最後に配置するようにする</p> <p>速さを競うレースではなく正確に行えるかが実施の目的</p>		
03:00	<p>順番を決めてスタート 同年代または年代の近い児童が二人一組になるように順番を決める</p> <p>二人ずつ前にできてきてもらい実施する。 できたかどうかをスタッフが判定してOKが出たら次のミッションに進む</p>	<p>行っていない児童が立ったり寝転んだりしていないか</p> <p>行っている児童が途中で諦めたりできずに泣いてしまうことはないか</p>	<p>座って見るように伝える</p> <p>できるようにサポートしたり、できる人もいればできない人もいることを伝えるなど気持ちが前に向くような声掛けを行い気持ちが切り替えられるようにサポートする</p>

	<p>紐結びなどで一人では難しいミッションがある場合はスタッフがサポートする</p> <p>最初の二人がゴールできたら次の二人が行う。 一人1-2周行う</p>		
17:00	感想・まとめ	楽しかったところ・難しかったところなど行ってみたいの感想を伝える	児童の言葉を聞いたうえでまとめや総評を行う。
20:00	<p>活動の終わりの挨拶 挨拶時は正座 「これで活動を終わります。礼。」</p>	正座ができているか	正座をしていない場合はするように声を掛ける

【実施のポイント】

- ・ 難易度を調整して成功体験を持ってもらう
- 成功したことで達成感を持ってもらう
- ・ 内容のバリエーションを変えて飽きないようにする。
- 同じ内容ではなく違うものを取り入れて飽きずに集中力を維持できるように支援する
- ・ 児童の興味関心を高められるように声掛けをする
- モチベーションの維持を保てるようにする

【アレンジパターン】

- 1、レース形式で行う
→ 慣れてきたらレース形式を取り入れてみて集中力や器用さをより高めて行けるようにする
- 2 リレー形式で行う
→ チームを2チームに分けて行う。集中力や器用さだけでなくチームメンバーとの連携を通して協調性も学べるようにする。
- 3、6-7個に増やす
人数が少ない場合や時間が多くある場合にはミッションを増やして多く行えるようにする